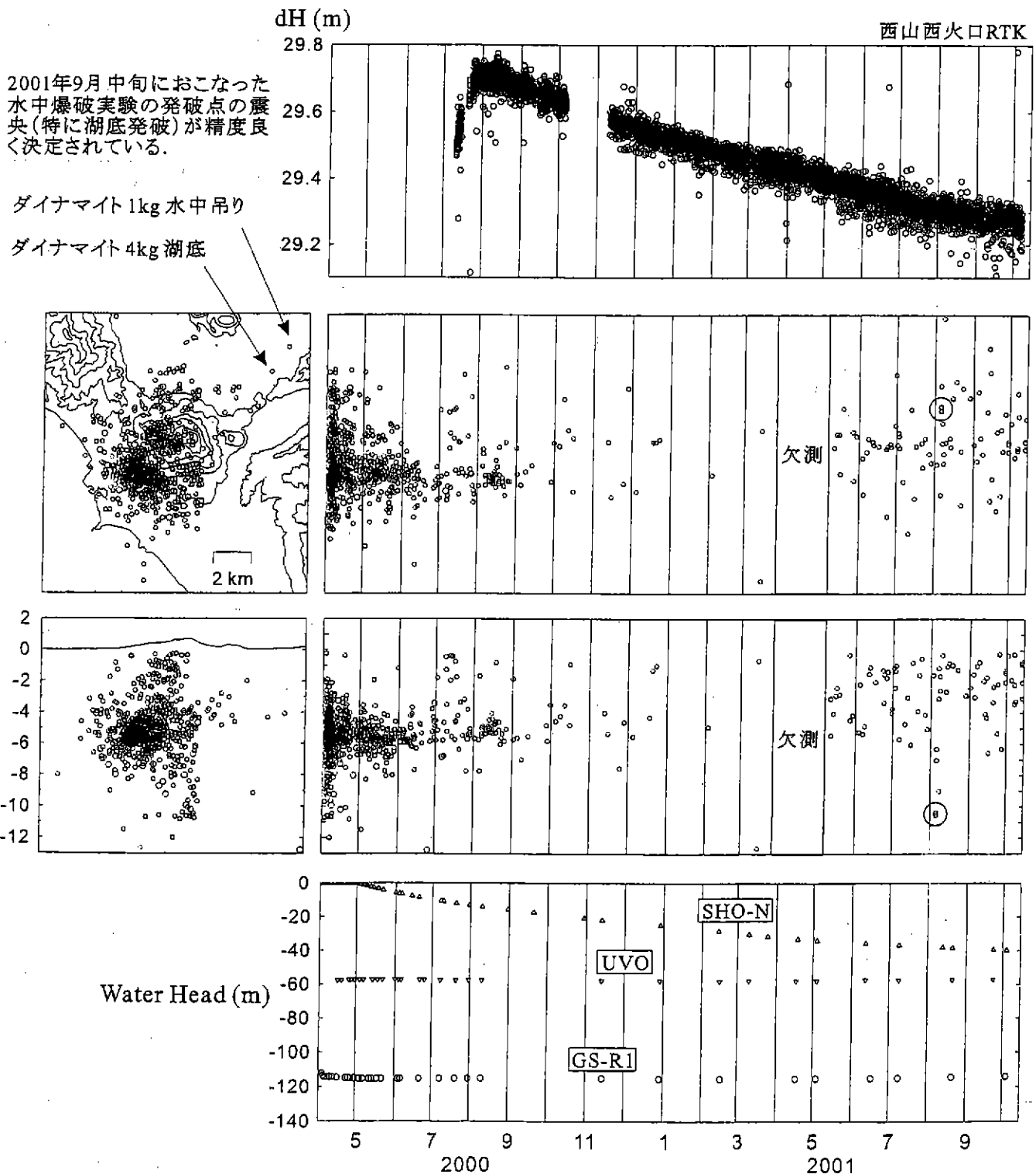


上段：空振パルスの特別回数および日別最大振幅の時系列図
 (2000年4月～2001年10月5日, グラフ表示期間中に観測点変更を含む)
 下段：A点NS成分で観測された噴火活動に伴う火山性微動の振幅レベルの推移
 (2000年4月1日～2001年10月5日)

有珠山

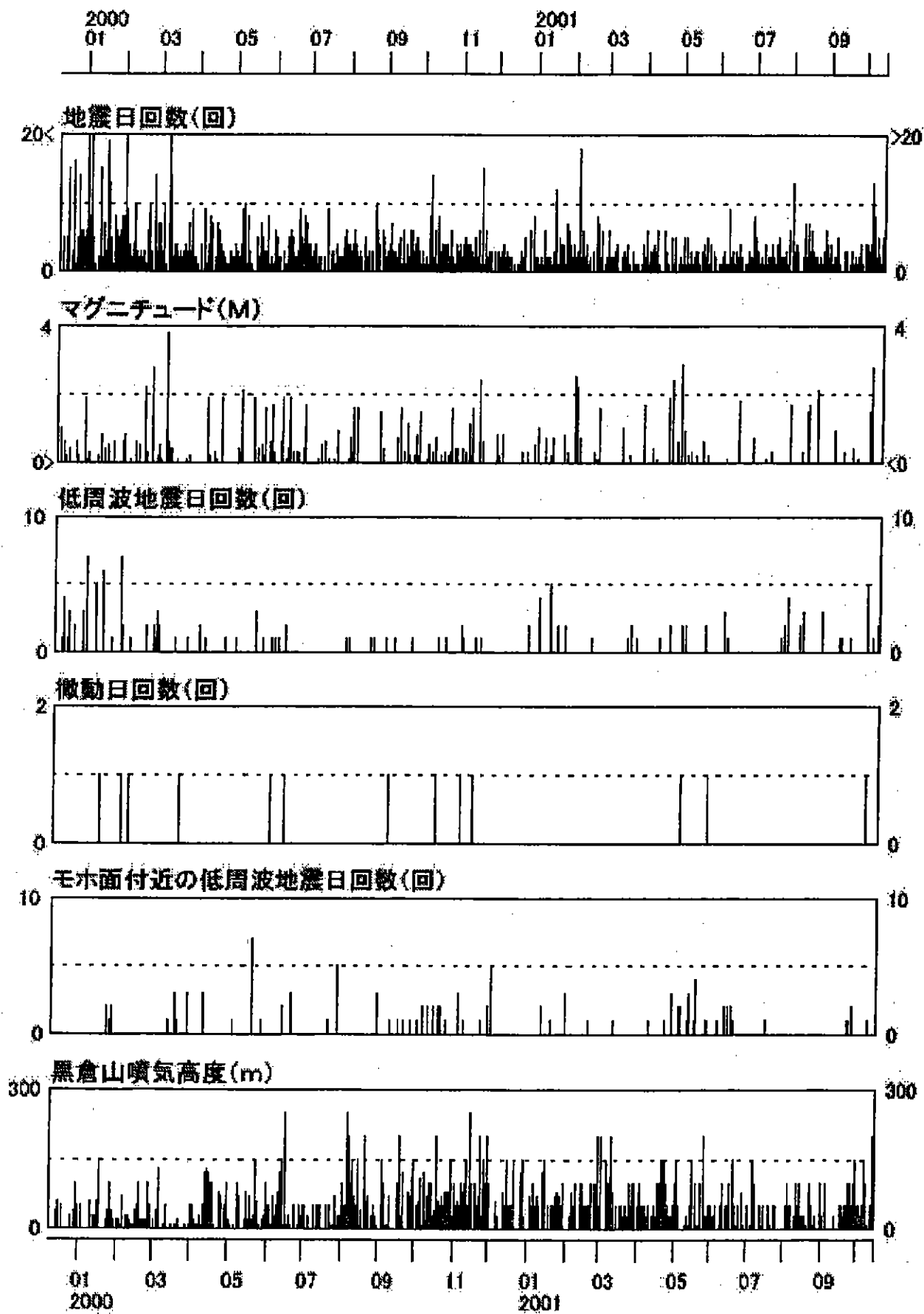
地震活動は低いレベルで推移しているが、8月5日に有珠山北外輪付近の深さ約10kmを震源とする地震が連発し、うち2つの地震について震源を決定することができた(図中○印)。西山西火口は約4cm/月の速度で沈降を続けていたが、7月末頃から沈降速度が低下しているように見える。噴火の際に急激な水位上昇が見られた昭和金山北麓のSHO-N観測井では、指数関数的な水位の低下が続いている。マグマ活動収束後の余効活動も低下しつつある。

(2001年3月下旬～5月上旬は観測点の移転および観測網の整備に伴う欠測。5月上旬からトリガーレベル変更)



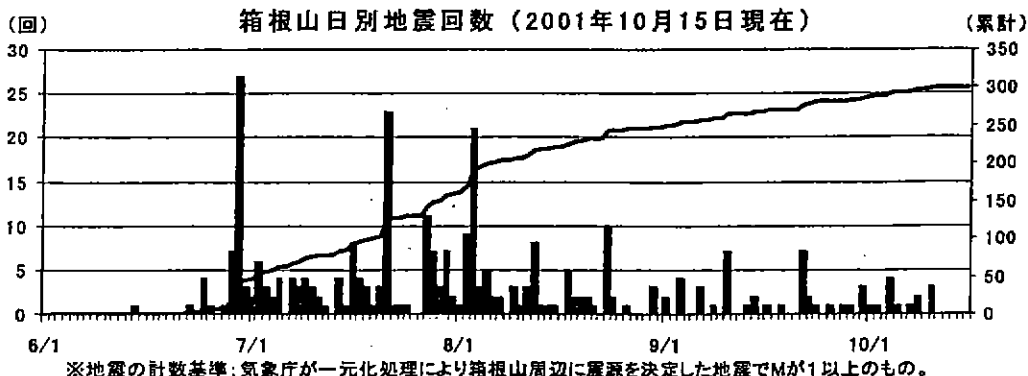
岩手山 活動一覽

1999/12/10~2001/10/15



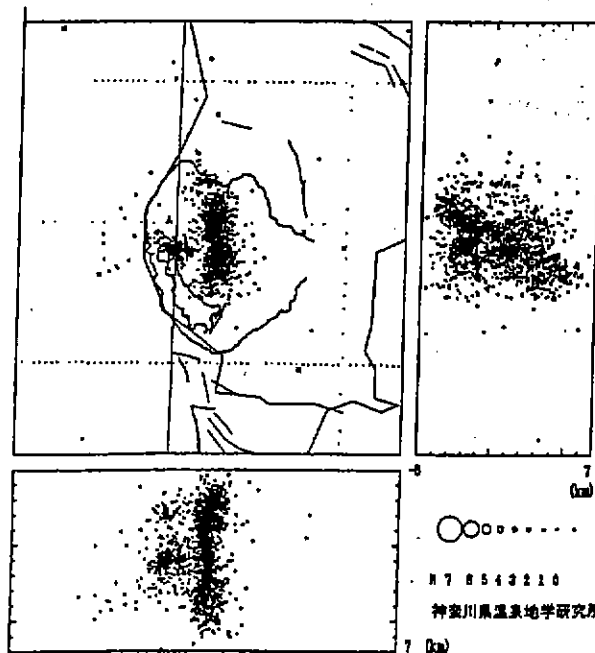
箱根山

気象庁



箱根山の日別地震回数図 (2001年6月~10月)

温泉地学研究所

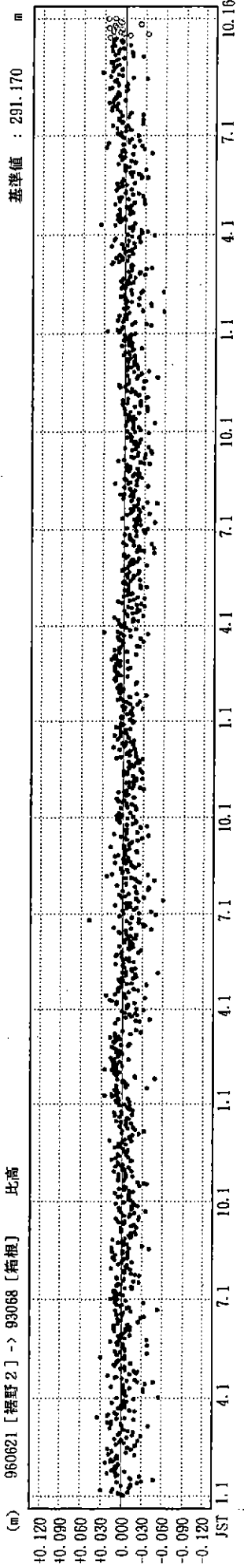
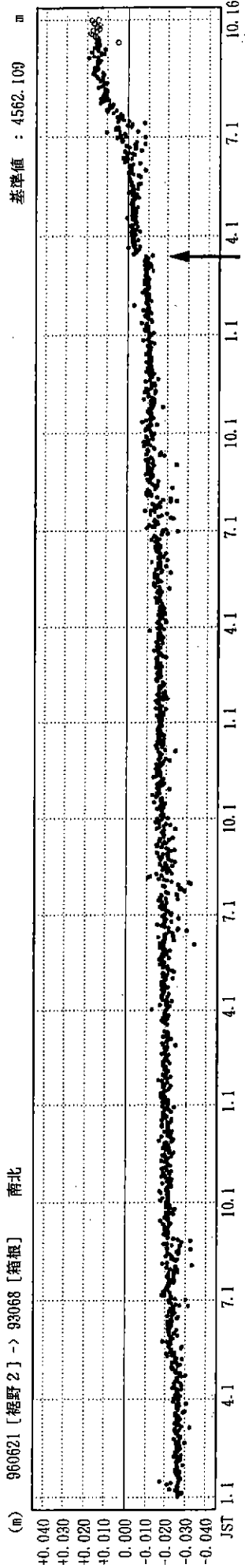
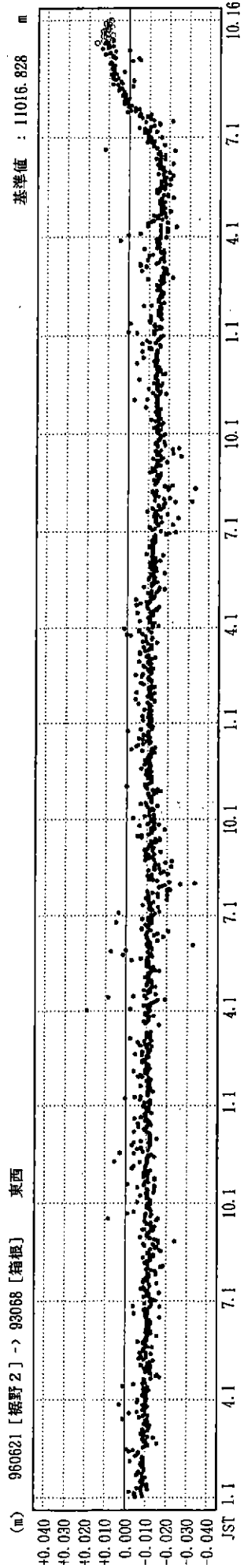
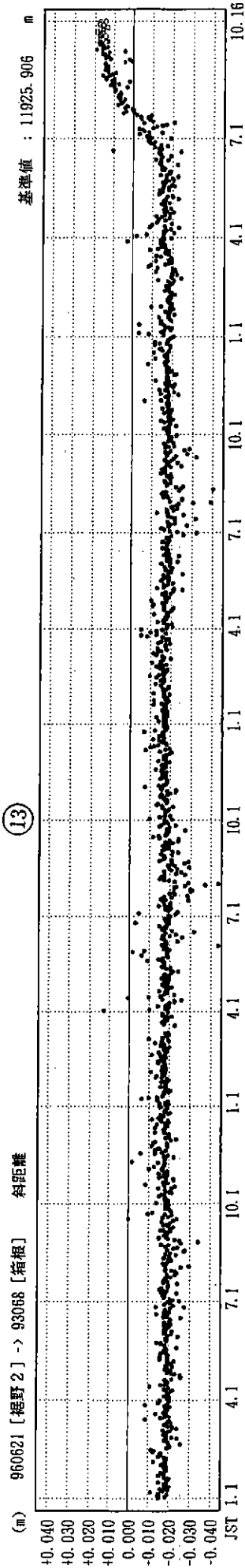


震源分布(6月1日~8月31日)

ただし、7月17日から23日未処理

基線長変化グラフ

(13/20)



● --- Bernese[IGS] ○ --- Bernese[COC]